

チャレンジプログラム

感想文

2024/03/ 31~ 2024/04/04

## Y.K(中学一年生)

私はこの四日間を通して学んだこと、気づいた事がたくさんあります。二日目の講義で話していた、チャレンジすること感謝の心を持つこと思いは招くということなどがほぼ全部いまの自分に当てはまっていたことにめっちゃびっくりしました。私は「どーせ無理」って思うことが多くてチャレンジもせずに自分に自信が持てなかったけど今回中村さんの話を聞いてこのままじゃダメだな、変わろう!!と思える事ができました。

最初の外国人アンケートの時はまさかそんなミッションが出されるとは思っていなくて英語が全く喋れない自分にできるわけがないと思っていたけど、実際にやってみるとジェスチャーと三つの単語だけでアンケートをとることができて、「やったらあんがいてきるやん？」って思えたし、次の自信にもつながりました！英語にも興味が湧いて喋れるようになりたいって思いました！本当に今回グローバルチャレンジに参加して良かったです!!自分を見つめ直すきっかけにもなったし何よりも気持ちや行動力とか大きな何かがガラッと変わりました。

私はこれからたくさんの方にチャレンジします！失敗をしてもそれをしっかり受け止めて学びにします！たくさんの方に感謝をします！特にお母さんにありがとうをあまり言えてなかったのでこれからはしっかり言います！逆にありがとうを言ってもらえる側になりたいです！あと中学校の勉強も頑張ります。数学が一番苦手だから中村さんが言ったように先生にたくさん質問して得意科目になるように頑張ります！大学生になったら A さんと B くんみたいにグローバルチャレンジプログラムにサポート役としてまた来たいです！

## Y.H(高校一年生)

このプログラムに参加する前は、「無理そうだからやめておこう」や「めんどくさい」であきらめてしまう事が多くありました。しかし、飛行機に乗って一人で香港にきて、初対面の人と知り合うという普段しないことにチャレンジしたプログラムの一日目から楽しいなと思うことができました。中村さんのお話の中でもあった通り、チャレンジすることはとても楽しく、自分にとって成長につながっていると、自信をつけてくれていると気づきました。

外国人インタビューなど道を尋ねることは徐々に慣れていき、断られても良いから誰にでも声をかけようという心がけでできるようになりました。何もしなかったら何も起きないから、何でも思ったことを行動に移すことを個人的に目標を立てました。

そして中村さんからのお話の中で特に心が惹かれた言葉は「損得で判断するのではなく、人として立派かどうかで判断する」とアウトプットとインプットの重要性についてです。大抵の人は損得を気にすると思いますが、人として立派な行動をして他の人からの信頼を得るという事が最も社会の中で大事だと思います。より多くの人からの応援や信頼があることで自分の目標や将来の夢が叶うことにつながっていくと思いました。

そしてアウトプット、インプットの重要性については、これからの人生の中心にしたいなと考えています。空き時間を活用するという行動は常に頭を活動させるとともに視野が広がっていくと思います。

この四日間を通してこれからの人生で大切、必要になってくるなと思ったことは、ミッション中に感じた、必ず考えたことはまず行動に移すべきだということと、感謝の心を忘れないということです。自分が興味を持ったものだけでなく、嫌なことに何回もチャレンジをして失敗をしてを繰り返して、失敗して終わりではなく、何が悪かったのかを見つけて改善策を練ることで立派な人に近づくと思います。また全ての物事に対するポジティブな心を持ち、感謝の心を忘れないようにします。

このプログラムの経験を活かして、今後自分の思いを周囲に広めていこうと思います。そして「チャレンジ」、「主体性」、「感謝の心」をモットーに努力していきます。

## N.F(中学二年生)

この三日間を通して、一番心に残ったことは、チャレンジする事が大切で、何も出来ないことには、何もできないし何も始まらないんだ。ということがわかりました。

素敵な人になるためには、チャレンジをする以外にも自主的に行動する事ができたり、感謝の心を持っていないといけないこともわかりました。私は自主的に行動する事が苦手で、指示待ち人間になっていたり、物事を自分のこととして捉えない事があったりしたなと思ったので、今回の話を聞いて、少しギクリとしました。

Time is Life という言葉を聞いて時間＝人生ということのをなんだと改めて気づきました。私はいつもテレビやスマホを見ながら、時間だけがどんどん過ぎているような感じなので、これからは、この言葉を思い出しながら頑張りたいです。

実際に香港の街並みに出て外国人と話してみても思ったことは、英語は完璧である必要はないんだということです。学校のテストとかでは、一つ文法が間違っているだけでもバツになってしまうけど、実際は通じれば大丈夫なんだな思いました。

中国人はマナーが悪くて怖い人が多いという偏見を持っていたけど、実際は優しい人も多く、本当に偏見は良くないなと思いました。

最初は外国人に話しかけるだけでも緊張して、どういう風に話していいのかもわからなかったし、無視されたらどうしよう、とか思っていたりしたけど、アンケートにしても、話しかけてみないことには結果も得られないということがわかってきてから、だんだん振り切って話しかけられるようになってきました。日本に帰った後でも、スマホだけではなく、道を聞いたりしてもいいんだ、という事がわかったので、これはチャレンジをして得られた事だなと思えます。これからもチャレンジすることによって、恥ずかしいこともあるかも知れないけど、絶対に自分のためになることがあるからし続けていきたいと思えます。

今回のチャレンジプログラムで香港に来てもう一つわかったことは、日本と海外の物価のことです。香港はとても物価が高く、日本からお金を持って行って何かを買おうとすると、こんなにも損になってしまうのだなと思えました。円安で物価も低いから、日本円の価値がどんどん下がっているのが、本当に大変なことで、それを今みんなが知らないのがやばいなと思えました。

今回学んだことを日本に帰っても忘れず、周りをまきこんで飛べるミノのようになりたいです。そのためにはまず、小さなことからでも一つずつ学んだことをやりたいです。

## K.T(中学二年生)

このチャレンジプログラムを受けてプログラムに参加する前と後で自分の考えが変わったなと思います。プログラムに参加する前は外国人に対して偏見で怖い、不衛生、親切ではないなどとあまり良い印象がなかったり、分からなかったら調べて、調べても分からなかったら「もう無理、諦めよ」とネガティブに物事を考えていたけど、チャレンジプログラムに参加した後は、外国人アンケートや中村さんの話などによって外国人に対する勝手な偏見も消えてむしろ態度が悪いのはごくごく一部の人だけでほとんどが丁寧に接してくれたのでそこに対する印象がとても変わったのと、中村さんの話で「どーせ無理はとっても恐ろしい言葉だけどとっても簡単な言葉でその言葉だけで人間の自信と可能性を奪う言葉」というのと「過去は変えられないが未来は変えられる。そして失敗してもポジティブな考え方をする」この二つの言葉がとても心に残っていて自分に思い当たる節が多いなあと思いながら話を聞いていました。今までの自分は過去のことを引きずってネガティブなことをずっと言っていたので同時に自信も失っていたのでプログラム中も最初は失敗したら落ち込んだけど仲間がどんどん外国人に話しかけてる姿を見て俺も頑張ろうとポジティブになる事ができて、そして仲間の大切さを再確認する事ができました。

初めての一人での外国で英語が苦手だったから上手く話せるかどうかや迷わず待ち合わせの場所に着けるのか、友達はできるのかと不安な事が多かったけど、みんなに会ってみたら少しの時間で打ち解ける事ができたのでとても安心しました。

ご飯は最初、日本とはお米が違っていて苦手だったけど中村さんが連れてってくれた焼き小籠包やミシュランをとっているお店、ミッションで行った大家楽や PRET A MANGER、FIVE GUYS がどれも美味しかったのでとても満足できました。中でも FIVE GUYS のハンバーガーがとても大きかったことやある程度中身が入っている状態で追加トッピングかと思ったらほぼ中身は自分で決めるシステムなことにビックリして日本では体験できないなと思いました。